



2022・12・7  
No.17

## スエ T の科学の時間がありました

2日（金）に、くま組でスエ T の科学の時間がありました。今回は、「種が遠くに運ばれる工夫」という内容でした。みんなが食べる柿や、園庭にある紅葉や、道端の花には、それぞれ種があって、遠くに行けるように考えて作られていると教えてもらいました。



柿って、食べたらず種はどうしてる？

出して捨てる！

そうだよ。動物に遠くまで運んでもらうために、甘くおいしくしてるんだよ！

果物や野菜は、猿や熊などの動物に食べてもらって、遠くまで種を運んでもらってるよ。



紅葉にも種があるんだよ。上から落とすとクルクル回って落ちていくよ。

松ぼっくりにも種があるよ。ひとつずつめくっていったら、羽のついた種が挟まっているよ。



羽がついているから、風に乗って遠くまでいけるんだよ。

道端に咲いているアメリカセンダングサ（ひつつきむし）は、動物にくっつくことで遠くまで運んでもらうよ。

今回も、スエ T が持ってきた紙袋から何が出てくるのか、身を乗り出して見ていました。種を運んでもらうために、おいしくなったり羽を付けたり、くっつけるようにしたり、色んな形をしていることを教えてもらいました。実際に紅葉の種を落としてみたり、松ぼっくりを分解してみたりしながら、「ほんとだ！！」と新たな発見に目を輝かせていました。

園庭に出ると、早速「スエ T が持ってきたのと一緒や！」と紅葉の種を落とし、回る様子を観察していましたよ！